

山林火災防ぎよ訓練

令和6年3月3日（日）、大牟田市大字勝立の旧勝立中学校において、春の火災予防運動の一環として、山林火災を想定した防ぎよ訓練を実施しました。

大牟田市消防団は、南部方面隊が訓練に参加し、消防隊と合同で本部設置、中継送水・放水訓練、ドローン活用訓練、広報訓練を行いました。



参加者の声

みなと分団 分団長
山下 和也

春季全国火災予防運動の一環として運動期間の3月3日（日）に旧勝立中学校で山林火災防ぎよ訓練を実施しました。午前9時30分、旧勝立中学校北側にて焚火が拡大。西からの風（7日め）により東の方向へ延焼拡大しているという想定で実施しました。消防団の南部方面隊は、ホースライン形成、火災防ぎよ、ジェットシューター部隊に



ジェットシューター部隊



ジェットシューターへの補水



災害現場本部

離が足りない際に、近くの分団が臨機応変に対応し、補い合えた。等の声があがり、それぞれの団員とつてとてもいい訓練になったと思います。今後も、様々な火災や災害に備え、機器の点検や訓練を行っていききたいと思っています。

天領分団 分団長
水永 敬一郎

消防署との合同訓練のおかげで多数の団員が集結。経験の乏しい団員から選抜し訓練に参加。結果スムーズには行かず課題が残りましたが、サポートに回っていた団員から



団長挨拶 西山 孝和



第19号

2024年4月発行

発行：大牟田市消防団予防委員会

ドローン機動部隊発足

分団本部 部長
池内 俊平

令和2年7月豪雨では、救助を求める市民のために、多くの消防団員が胸まで浸かりながら活動を行いました。その際、どの範囲がどの程度被害を受けているのか、また、要救助者はまだ発信場所不明のか、また、要救助者の活動で、また、安全な位置から災害の

全容を確認することが難しいのが現状です。今回発足したドローン機動部隊は全容の見えにくい現場で、安全な場所からリアルタイムで状況を把握することが可能になりました。ドローン機動部隊が現場状況を冷静に把握し、団員が安全に活動できるよう情報提供をします。ドローンと団員がワンチームで市民の生命と財産を守ります。



昨年より引き続き団長を務めさせて頂きます。新しい年度を迎え第19号しょう太くんだよりを発行するにあたり一言挨拶申し上げます。まずは消防団員の皆様におかれましては、日頃より消防団活動へ対する献身とその勇氣に感謝の気持ちを伝えたく思います。地域の安全を守るため日々の活動に情熱を注いで頂いている事を誇りに思います。

さて昨年より団員が減少しております。これは大牟田市だけの問題ではなく多くの地域で課題となっております。今年度も昨年以上に消防団への加入促進に力を入れていきたいと思っております。特に若い世代に対して消防団での経験や仲間を持つ価値を伝え1人でも多くの団員を獲得していきたいと思っております。

最後になりますが大牟田市の安心、安全をまもるためにも1人でも多くの団員獲得と災害対応力の向上に努め署団一致の精神をもとに署と団が力を合わせ災害活動を行っていききたいと思っております。これからも消防団へのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い致します。



令和6年大牟田市消防出初式

手鎌分団 分団長 増永喜秀

令和6年1月7日（日）大牟田市文化会館、大牟田市役所玄関前及び笹林公園にて、4年ぶりに1部の式典から2部の分列行進、3部の展示訓練まで制限を設けずに、令和6年大牟田市消防出初式を開催しました。

夫婦兄弟消防団員表彰

天の原分団 部長 湯野 真悟
団員 湯野 美咲

この度は夫婦表彰頂き有り難うございました。きっかけは、当時の白川分団長にお誘いいただき、どんな活動をするのかよく分からないまま入団させてもらいました。消火活動だけでなく、地域を支えるために広く活動していることを知り、地域社会貢献という充実感を感じています。その後、結婚し娘も生まれ、家を建てるために引越したのをきっかけに、天の原分団に移動しました。妻も消防団にはよく誘われており、その度に大変そうとか、面倒そうと思っていたのですが、

副団長 石井 洋徳

出初式第2部では、大牟田市役所前を幼年消防クラブ、婦人防火クラブ、デンカ（株）自衛消防隊、三井化学（株）自衛消防隊、帝京大学防災サークルTIFAST、消防署隊、消防団隊の順で、分列行進を行いました。年初、消防団員としての使命感を抱きながらの一糸みだれぬ行進は、毎年気がひきしまる思いでございました。地域住民の安心・安全の確保のために、自らの地域は自ら守ると使命感を抱き今後とも消防団活動に努力してまいります。

出初め式第3部では、笹林公園での各消防団の訓練で最初は婦人防火クラブ員の消火訓練で、普段なかなか使わない消火器を巧みに使って消火されていきました。次の訓練では、南部方面隊の通常訓練で、規律がとてよく普段の練習が見て取れました。次は各消防団車両による車両点検訓練です。いつでも災害に対応できるよう、常に整備がされており大変良かったと思います。

次は各消防団、自衛消防隊による一斉放水訓練です。規律よくテキパキと活動され見事に着色された水が放水され、今年も地域住民の安心安全へ災害0を目指し努力したいと思いをしました。



高取分団 1部 龍 大貴

僕は今回初めて一斉放水に出場させてもらいました。

皆さんで一致団結してできた放水は、緊張したけど、とてもいい経験になりました！今年も大牟田市消防団で力を合わせ無災害、無火災で過ごせるように協力します。

玉川分団 分団長 平川 裕人

力して今年も消防団活動頑張っていきたいと思えます！

今回、このような賞をいただいたのは、普段から消防団活動にご協力いただいた玉川の団員の皆さんのご尽力のお陰です。皆さんに感謝申し上げます。

団員数が少なくなる中で、一人ひとりへの活動の負担にならないように工夫して、先輩方の知恵を借りながら、また、協力いただいたいる団員の皆さんの家族に感謝しながらこれからも消防団活動を頑張っていきたいと思えます。

署団合同地域防災啓発訓練実施

明治分団 分団長 阿津坂 仁士

秋季全国火災予防運動期間の1月12日（日）に明治第一公園で地域防災啓発訓練が実施されました。訓練は、公園内の焚火からの延焼拡大と風により遊具に燃え移り、さらに東屋に燃え移る恐れがあるという想定で行われた。消防団においては西部方面隊と本年度新設されたドローン機動部隊が出動し、中継送水や放水ラインの形成、火災防ぎよ

やドローンによる上空監視、無線による情報伝達訓練等が行われ午前11時に訓練を終了した。訓練自体は、採水する際に可搬ポンプの径と採水口の径が合わず、防火水槽のふたを開けて直接水利を取るなど臨機応変に対応したことで無事に終了することができました。この訓練を経て、機器や接続媒介の確認等をしておくこと、いろんな採水方法があることを学ばせていただきとてもいい訓練になったと思います。

